

令和 8 年度広島県地域通訳案内士育成業務企画提案仕様書

この契約により業務の委託を受けた者（以下「受注者」という。）は、一般社団法人広島県観光連盟（以下「HIT」という。）との業務委託契約書に基づき、本仕様書に記載された業務内容を誠実に遂行し、業務を実施するものとする。

1 趣旨

広島に関する深い知識を持った質の高い広島県地域通訳案内士（以下「地域通訳案内士」という。）の活躍は、広島県のブランド価値を高め、外国人観光客の更なる来訪の増加や評価の高まりにつながる好循環を生む原動力となり、HIT が目指す「何度も訪れたくなるリピータブルな観光地づくり」の推進に寄与することが期待される。

このことから、外国人観光客に満足度の高い旅を楽しんでいただくため、有償でガイドを行うことのできる地域通訳案内士を育成し、観光の現場で活躍することを目的とし、「広島県地域通訳案内士育成等計画」に基づき、県内の観光地で即戦力となりうる地域通訳案内士を育成する。

2 業務の名称

令和 8 年度広島県地域通訳案内士育成業務

3 業務期間

契約締結日から令和 8 年 12 月 31 日まで

4 業務予算上限額

8,800 千円 （取引に係る消費税及び地方消費税の額を含む。）

5 業務の内容

研修後、速やかに通訳案内士として登録をし、現場ですぐに活躍できる地域通訳案内士を育成するために、次のことに留意し研修を実施すること。

（1）受講者数

定員 40 人

（2）研修言語

「広島県地域通訳案内士育成計画」に記載の英語及び中国語に加えフランス語及びスペイン語を加えた 4 言語による外国語の通訳案内士を育成することを想定し、研修生の募集・選考、

研修・試験内容を提案すること。

ただしフランス語及びスペイン語についてが関係官公庁等の許認可の取得を前提としており、当該許認可が得られない場合は、当該部分の業務を実施しない、または内容を変更することがある。

(3) 研修スケジュール

・令和8年7月～11月の土日を中心とした日程とし、具体的な最終日程については、HIT と協議のうえ、決定すること。

・研修受講者の負担とならないよう配慮した研修スケジュールを提案すること。

(4) 研修内容・時間・講師等

- ・研修内容・時間数のカリキュラムは、広島県内で即戦力となり得る有償ガイドを育成できるよう、「広島県地域通訳案内士育成計画」に定める要件に従って、地域通訳案内士に求められる水準を満たすために必要な内容数を独自提案すること。
- ・スクール形式、グループワーク形式、ロールプレイング形式、メンター形式などを取り入れた最適と思われる研修内容を提案すること。
- ・語学研修及び実務研修の実施者は、ネイティブ講師または全国通訳案内士であることが望ましいが、これに限るものではない。
- ・背景となる文化・価値観・宗教・生活習慣等への理解が不可欠であることから、国・地域ごとの文化的背景や異文化間コミュニケーションの留意点を理解させる内容を盛り込むこと。
- ・「広島県地域通訳案内士育成等計画」の3. ①に記載の研修項目「コミュニケーション・ホスピタリティ」（4時間）について、（一社）インバウンドガイド協会が策定するガイドスキルマップの行動基準に基づき、以下の5つの要素(※)を盛り込むこと。また、講師には全国通訳案内士で、コミュニケーション・ホスピタリティ研修講師の実績を有するものを選定するなど、質の向上に努めること。
- ・5つの要素のうち、特に「倫理・法令順守」については、国際社会全体に関わる問題であり、これから通訳案内士として文化等の多様な他者を相手に国際的立場で活動する者にとって、重要な要素であることから、他者の多様性を理解・尊重し偏見や差別的言動をしないのは勿論のこと、コンプライアンスに反することのないような行動が身に付くよう、講義内容の提供に努めること。

(※)「5つの要素」とは

Mindset	Basic Capabilities	Communication	Technique	Knowledge
「顧客視点」 「リーダーシップ」 「柔軟性」 「多様性の尊重」 「倫理・法令順守」	「体力・健康」 「論理的思考能力」 「創意工夫」 「マネジメントスキル」 「ITスキル」	「言語力」 「傾聴力」 「表現力」 「交渉力」 「チームワーク」	「旅程確認・作成」 「準備・催行管理」 「安全管理」 「危機対応」 「演出」	「歴史」 「社会・文化」 「地域特性」 「国際」 「業界」

- ・研修講師への講義依頼、講義資料の調整、講師料の支払等、研修実施にあたり、研修講師との調整を行うこと。
- ・各研修の内容に即した、講義資料を作成・手配し、中国語については、簡体字及び繁体字、両方の講義資料を作成・手配すること。
- ・研修講師による時間厳守を原則とし、研修時間が延長することのないよう講師へ注意喚起するとともに、可能な限り研修時間内に質疑応答の時間を設けるよう講師に依頼をすること。
- ・研修中、一般社団法人全国旅行業協会及び一般社団法人日本旅行業協会が開催する国内旅程管理主任者研修を受講者に案内すること。その他、別途受講者に必要な研修がある場合は、適宜案内すること。

(5) 研修の開催手法・会場等

- ・研修の開催手法について、研修内容に応じて対面及びオンライン等提案すること。なお、実務研修等のオンライン開催にそぐわないものについては、対面での開催を必須とすること。
- ・座学研修・試験を会場開催とする場合は、広島市内の会場を提案すること。その際、言語別に実施した方が良い研修については、別に会場を手配すること。
- ・天災等で研修が中止となる場合に備え、予備日を1日設定し、あらかじめ会場を確保し受講者に連絡すること。
- ・座学研修等をオンラインで開催する場合は、配信方法について提案をし、受講者が全員滞りなく参加できるよう、参加方法等について提案すること。
- ・オンライン研修を開催する場合は、視聴終了後、出欠・習熟度を確認する手法を提案すること。また、研修期間中は口述試験までアーカイブで視聴できるよう措置を講じること。
- ・実務研修等を観光地等で実施する必要がある場合は、観光地等を管理する者からの了解を得るとともに、研修受講者や観光客の安全に十分配慮すること。

(6) 受講者の募集・広報

- ・受講者の募集にあたり、選考基準を HIT との協議により設けることとし、広島県内で即戦力となり得る①広島に関する深い知識を持った②質の高い有償ガイドの育成を目指して、募集要項を作成すること。
- ・潜在的有償ガイドに広く周知を図るための広報方法（チラシ配布や SNS 活用等）を提案し、広報物を作成のうえ広報を行うこと。なお、HIT の HP、X（旧 Twitter）を使用することを可とする。

（７）受講者の申込受付・選定等

- ・受講希望者等からの研修に関する問い合わせがあった場合、電話やメール等により対応すること。また、その対応内容を記録し、HIT に適宜共有すること。
- ・研修の申込はメール等により受け付け、申込者を Excel 表にてリスト化し管理すること。
- ・受講希望者が研修受講者の資格要件を満たしていることを確認し、申込言語による約 1 分程度の動画の提出を求めること。
- ・受講者の選定にあたり、その選考方法を提案するとともに動画及び書面を基に HIT と協議のうえ最終決定をすること。
- ・受講者の選定にあたり申込言語に係る一定水準以上の語学力を有していることのみならず高いホスピタリティ意識を有していること・多様な文化的背景を理解し、これを尊重した対応ができる態度を有していること・地域通訳案内士として活動する意欲及び継続的にスキル向上に取り組む姿勢を有していること、を選考基準として明確に位置付けること。
- ・申込み先等の名称は「令和 8 年度広島県地域通訳案内士育成研修 運営事務局」とすること。

（８）受講料

- ・テキスト代、実務研修等に係る実費（交通費、施設入場料、保険料等）として、研修受講者 1 人当たり 25,000 円以下で設定すること。
※各自自宅などから集合場所までの交通費は各自負担とする。
- ・受講希望者に対し、受講料の額、納入方法並びに返還について、十分に説明し、受講前までに納入させ、領収書を発行すること。
- ・一旦納入された受講料については、原則返還は行わない。但し、天災等やむを得ない事情により研修実施が不可能となった場合は、HIT との協議のうえで返還を行うものとする。

（９）研修の運営

- ・研修の進行、資料準備、会場設営、出欠管理等を行うこと。
- ・全研修に出席することが修了試験受験資格であるため、必要な対策を講じることとし、研修時間帯に出席できない受講者に対しては他の時間帯で受講できるよう措置を講じること。
- ・オンライン研修を開催する場合は、通信トラブル等で受講できないことのないよう、事前検

証等の準備をするとともに何かしらのトラブルに備え、代替の措置を必ず講じること。また、受講者全員が滞りなく研修に参加できるよう必要なサポートを行うこと。

- ・オンライン研修以外の研修については、実施時期の社会情勢に従い、適宜必要とされる安全対策を講じること。
- ・天災等で研修の開催が困難な場合は、研修講師との調整、研修受講者への周知を行ったうえで、予備日で開催すること。
- ・実務研修を実施する際は、参加者全員が傷害保険に加入することとし、その費用は事業費で負担すること。

(10) 試験の実施に関すること

- ・研修受講者に対する、試験方法、内容等を提案のうえ、試験問題については、審査員と HIT との調整により作成し、研修の理解度、外国語によるスピーキングスキル、プレゼンテーション能力、ガイド能力・素質等について総合的に審査し、研修受講者の可否を判定すること。
- ・審査員の選定及び依頼、審査料の支払い等、試験実施にあたり、審査員との調整を行うこと。なお、審査員は、各言語につき 2 名以上とし、全国通訳案内士有資格者及び当該言語のネイティブ審査員を含むものとする。
- ・試験当日の進行、課題の準備、会場設営等を行うこと。
- ・試験不合格者については、HIT と相談のうえ、不合格通知及び、フィードバックを行うこと。

(11) 修了証の交付

- ・次の要件を満たしている研修受講者に対して修了証書を交付すること。
 - (ア) 研修の全日程に出席していること。
 - (イ) 試験に合格していること。
- ・修了証書は、HIT との調整により、作成し送付すること。

6 業務の執行体制確保について

- (1) 受託者は、本業務に必要な人員を配置し、責任者及び副責任者を明らかにするとともに、責任者及び事務担当者等の業務所掌範囲についても明らかにすること。
- (2) 早期に初回の打ち合わせを実施し、その後は、業務の遂行状況を定期的かつ必要に応じて情報共有しながら、本業務を遂行すること。
- (3) 契約締結後速やかに、実施スケジュール等の詳細を明らかにし、HIT の承認を得ること。
- (4) その他、本契約の範囲内において、この仕様書に記載のない事項については、HIT と協議し、決定すること。

7 再委託について

- (1) 受託者は、業務の一部を第三者に再委託することができる。その場合は、再委託先の業務内容、再委託先の概要及びその体制と責任者を明記の上、事前に書面にて報告し HIT の承諾を得なければならない。
- (2) HIT により再委託が承諾されたときは、受注者は再委託先に対して本業務に係る一切の業務を順守させ、進捗管理及び HIT への報告を適宜行うものとする。

8 秘密保持

- (1) 本業務に関し、受注者が HIT から受領又は閲覧した資料等は、HIT の了解無く公表又は使用してはならない。
- (2) 受注者は、本業務で知り得た HIT 及び事業者等の業務上の秘密を保持しなければならない。

9 その他

- (1) 地域通訳案内士育成研修等の内容や運営方法について、受講者募集前、研修中、研修後にそれぞれ必要に応じて、HIT と打合せを行うこと。
- (2) 広島県地域通訳案内士登録に関する諸連絡を行うこと。
- (3) 受講者を対象に、本研修に関するアンケートを行い、内容を整理してデータを HIT へ提出すること。アンケートの最終的な内容については、HIT と協議を行ったうえで、作成すること。
- (4) 本業務により得られた成果及び関連する製作物等は、HIT に帰属するものとする。
- (5) 本業務の実施にあたり、第三者の著作物を利用する場合は、当該著作権の許諾を得ること。
また、その他の権利に抵触するものについては、受注者の費用をもって処理するものとする。
- (6) 受注者は、当研修等に関わる受講者・参加者・事業者等への案内物、メール送付文書等は HIT と事前に相談のうえ、案内すること。
- (7) 契約の締結、本業務の履行に関して必要な費用は、特段の定めがない限り、すべて受託者の負担とする。
- (8) 本業務の実施に当たっては、受注者は進捗状況を適宜報告し、HIT 及び各関係機関等との連絡調整を十分に図ること。
- (9) 不足の事態が発生した場合や、事業計画等に重要な変更が生じる場合は、速やかに HIT に報告し、協議を行うこと。
- (10) 本業務の実施にあたって疑義が生じた事項及び本仕様書に定めがない事項については、HIT と受託者が協議して調整を図ること。

10 成果品

- (1) 本業務を踏まえ、業務実績報告書（実施内容や得られた成果・課題・来年度への改善提案及び本研修等実施に係る収支の実績を含む。）をデータにより提出すること。
 - ・納品日：令和 8 年 12 月 31 日まで
 - ・言語：日本語
- (2) 本業務に係る研修資料・回収物・制作物等の著作データは全て HIT に帰属することとし、そのデータを HIT に提出すること。

11 留意事項

- (1) 契約や支払いに関する書類など本事業の関係資料を本業務完了の年度の翌年度から起算して 5 年間保管すること。